

ずいぶんくたびれているんです。

宿屋の亭主 (しかるように) なにをぐずぐずしているんだ。——早くお部屋へおつれ申さないか。

宿屋のかみさん (きゆうにそういわれてあわてて) は、はい。——いま。——ただいま。……

宿屋の亭主 世界にまたとない宝をもっておいでになるんだ。——上等の——いちばん上等のお部屋へおつれ申せ。

宿屋のかみさん ええ。——ええ。……

宿屋のかみさんをさきに、ブウツ退場。

間。^{*}

宿屋の亭主、テーブルのまえに腰をおろし、ブウツにもらったごちそうをおもむろにたべはじめる。

宿屋の亭主 ……うまい。——なるほどすてきだ。——(夢中になってたべる。——ふと手を休める)

だが、ふしぎだ。——ふしぎなテーブルかけだ。——あれが、もし、おれのものだったらどうだろう？——おれが、もし、あれをもっていたらどうだろう？……(考えこむ)

間。——宿屋の亭主、きゆうに立ち上がる。——ひきだしのそばへいろいろなテーブルかけを出す。……

宿屋のかみさん、かえってくる。

宿屋の亭主 ねたか、お客は？

宿屋のかみさん ええ。

宿屋の亭主 ……よし。(うなづく)

(幕)

その二

ブウツの貧乏なすまい。

夕方。

ブウツのおかアさん、ひとりできびしく糸をつむいでいる。

間。

ブウツ、はいってくる。